

平成26年度 事務事業評価シート

事務事業名		福祉のまちづくり整備助成				所管	福祉部 福祉課	
事務事業の概要	行政計画	あり	事業NO.	170	計画事業名	福祉のまちづくり推進		
	長期総合計画体系	[基本目標] Ⅲ-1. 健康づくりと、自立生活を支える基盤づくり					事業の開始・終了年度	
		[小 柱] (4)地域での生活を支える仕組みづくり					[事業開始] 平成 1 6 年度	
		[施 策] ④ 地域生活を実現する住まいの確保[58]					[終了予定] - 年度	
	根拠法令等	条例・規則		〔法令等名〕	台東区福祉のまちづくり整備助成金交付要綱			
	事業対象	医療施設(①診療所②施術所③薬局④その他これらに類する施設)						
	事業目的	公共的施設のバリアフリー整備を行おうとする者に対し、区がその経費の一部を補助することにより、バリアフリーを促進し、区民の社会的自立と社会参加の機会を拡大する。						
	事業内容	バリアフリー整備(①道路から出入口までの通路②建物の出入口③その他)助成 ○補助率:補助対象経費の1/2 ○補助限度額:100万円						
委託の有無	なし		委託内容					
補助金の有無	都							
事務事業の実績	種 別	指標の名称 (単位)		目標値 (27年度)	23年度	24年度	25年度	
	活動指標	整備件数 件		4	4	2	2	
	成果指標	累計整備施設数 件		27	15	17	19	
	決算額 (単位:千円)				981	1,449	1,175	
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト(人件費など)			1,260	1,000	852	
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)			0	0	0	
		その他のコスト(扶助費・補助費など)			981	1,449	1,175	
		総経費			2,241	2,449	2,027	
	財源項目 (単位:千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)			0	0	0	
その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)			490	725	587			
一般財源(区負担額)			1,751	1,724	1,440			
前年度から改善した事項		対象となる施設が必要な助成を受けられるよう、継続的に周知を行った。						
評価の視点		評価	評価の理由					
	必要性	4	高齢者や障害者が利用する対象医療施設のバリアフリー化を、より一層促進する必要性は高い。					
	効率性	3	コストや効率面について大きな変化はなく、コストに応じた実績を挙げている。					
	手段の適切性	3	助成実績には変化はないが、医療施設のバリアフリー化を推進し、福祉のまちづくりを計画的に実施する為にも行政の支援は必要である。					
	目的達成度	4	例年2~4件の申請件数があり、小規模医療施設のバリアフリー化は進んでいる。					
[評価の理由](区民生活への影響を十分考慮すること)						評価結果	今後の方向性	拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了
助成対象である医療施設については、高齢者や障害者の利用者も多く、公共性が高い。これら助成対象建築物のバリアフリー化を進め、利用者の利便性を向上させるためにも継続して実施していく必要がある。							維持	